



衆議院議員
藤田文武

新しい日本を
創る！

維新

謹賀新年

令和初の新年 旧年中のお礼とご挨拶

令和最初の新年を心よりお慶び申し上げます。旧年中は皆様のご厚情を賜り国政の場へと送り出して頂き、本当にありがとうございました。本年もその期待に応えるべく、議会活動に邁進して参ります。

旧年中の国会 成果と課題を振り返る

旧年中の議会活動では皆様の生活に密接に関わる厚生労働委員会に所属し、税と社会保障の議論を中心にたびたび質疑の壇上に立たせて頂きました。また、人数の少ない政党ながら与党案に対して問題点の指摘や改善の提案を

続け、会社法の改正では「少数株主の権利保護が不十分」という私たちの指摘で法案の修正が実現しました。
□一方で本丸である年金改革においては政府の考え方を大きく変えさせる議論には至っていないのが現状です。

令和二年の取り組み 社会保障議論の深化を

本年度はいよいよ安倍内閣が主導する「全世代型社会保障検討会議」の内容が大枠でまとまり、国会の壇上に上がって来ることが想定されます。日本維新の会は、社会保障を「負担と給付の微調整」

という小手先の議論ではなく、税制や労働政策、そして我が国が今後どんな社会を目指すのかというビジョンと合わせて抜本的な議論に取り組んで参ります。

ワンポイント解説

「全世代型社会保障検討会議」
少子高齢化と生活の多様化が同時に進む中、誰もが安心して暮らせる社会保障制度を検討するため、令和元年9月18日に設置された会議。議長は安倍総理が務め、民間の有識者も多く参加する。

2020年代は 大阪が日本の政治を突き動かす



世界中で加速する第5世代の社会

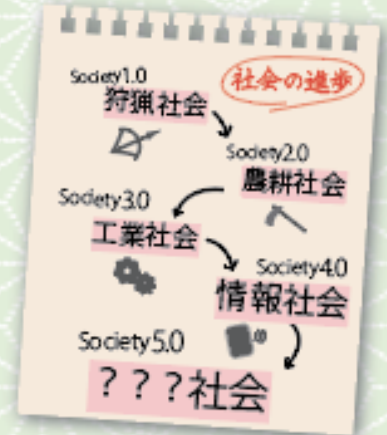
人の歴史の中で、技術の革新によって人や社会のあり方が大きく変わる瞬間があります。中世の産業革命や現代のパソコンの登場はまさにその瞬間の一つです。そして今、第5世代と呼ばれる社会への革新が世界の他の国ではもう始まっています。この第五世代の

社会（Society 5.0）を日本で最も早く実装していく都市が大阪です。大阪府と大阪市は昨年8月に「大阪スマートシティ戦略会議」を立ち上げ、2025年の万博開催までに達成すべき具体的な目標を定め、その実現に取り組んでいます。

未来社会の統治機構はどうあるべきか

日本はあらゆる分野において規制が厳しく、時代の変化に柔軟に対応することが難しい社会とされています。もちろん、規制があることによって社会の安定が守られているという面も否定はできません。しかし、時代の流れが早くなり、人口構造も大きく変わっていく

中で、統治機構のあり方も、より柔軟にスピーディーな意思決定ができる仕組みが求められています。今年の冬にはまさにそのさきがけとなる大阪都構想の住民投票が実施されます。維新の会が国が権限と財源を握って地方を管理する自民党的な国家観から、地方が主体的に



意志決定し、住民に身近な所で政策決定を行う国家への転換を目指していきます。



幕藩体制
(地方分権型)



近代国家
(中央集権型)



日本維新の会は、国家は外交・防衛などの大きな課題に専念し、地域の事は地域で決める国家体制の実現を目指しています。

地方創生、そして日本再生へ

【地方創生委員会】での議論

私は国会で厚生労働委員会の他に、地方創生委員会にも所属して議論をしています。国が作った地方創生の補助金メニューは実に200種類程もあるのに、それらを活用して本当に活性化したという成功事例は聞きま

せん。国がメニューを作り、地方に補助金を配る発想がまさに東京一極集中の国家を前提としているからです。国は地方の自由な発想を妨げず、大胆な規制緩和と税源移譲で地方の自主的な努力を促すべきです。

OSAKA

TOKYO

そしてそのために必要な資源、人・物・情報・お金の全てが東京に集中する今の国家構造を先ずは大きな二極へ、そして多極分散型社会を目指して、大阪から日本再生の議論を東京にぶつけます。

日本維新の会が目指すのは **日本を支える新しい統治機構の実現!**

令和二年も維新の会にご期待ください!

発行元：藤田文武事務所 大阪府寝屋川市八坂町 24-8

